

資料1

平成29年度に向けた教育委員会の施策の基本方針 ～とくしまの未来を切り拓く、夢あふれる「人財」の育成に向けて～

平成28年11月定例会（付託）
文教厚生委員会
教育委員会

I 地方創生から日本創成へ！「徳島ならでは」の教育の推進

①個性、可能性を最大限に伸ばす教育の推進

- 農工商一体教育、高大接続教育、産業界連携研究を行う「阿南光高校」の開校準備（H30.4.1開校）
- 6次産業化に対応した城西高校「アグリビジネス科」の教育環境整備（H29.4.1設置）
- 家庭、地域、経済団体、企業等と積極的に連携した「キャリア教育」の一層の推進
- 特別支援学校児童生徒の活躍の場の拡大、さらなる職業スキルの向上



②人口減少社会に挑戦する「徳島モデル」の学校づくり

- 小中一貫教育「チェーンスクール」「パッケージスクール」のさらなる推進
- 地方と都市を結ぶ「デュアルスクール」の実証研究によるモデル化の推進
- 教育の多様性と効率化に向けた、学校におけるICT環境の充実

③災害を迎える防災教育の推進

- 県立学校の計画的長寿命化と併せ、防災等機能を強化・充実
- 「防災クラブ」の自主的活動のための体制づくりの推進
- 高校生を対象とした「防災士」の資格取得推進



II 一人ひとりが輝く！徳島の未来を育む教育の推進

①確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

- 本県独自の学力・学習状況調査、大学等の専門的知見・技術を活かした集中的・継続的な「授業改善」等による学力の向上
- スクールカウンセラーをはじめとする専門家による相談体制の強化
- 子供たちの肥満予防・肥満対策・生活習慣の改善に向けた取組の推進

②学校・家庭・地域が協働で取り組む教育の推進

- 地域と学校が連携・協働、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える「放課後子供教室」や「地域未来塾」などの拡充

③時代の潮流を見据えた学びの推進

- 「消費者教育」の取組や「エシカル消費」活動の一層の推進を図るとともに、先進的な取組を進める学校を支援
- 「6次産業化」実践教育をさらに発展・拡充、「徳島ならでは」の商品開発から販路拡大を推進
- 選挙管理委員会と連携し、主権者意識を高めるための「主権者教育」の充実



III グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進

①徳島を愛する心の育成と「とくしま回帰」の促進

- あわ文化の魅力を発信する「あわっ子文化大使」活躍の場の拡大
- 「板東俘虜関係資料」のユネスコ「世界の記憶」登録の推進



③国際舞台で躍動するアスリート、アーティストの育成

- トップスポーツ校に加え、今後、入賞が期待できる競技に対し重点的に支援
- 県立学校の「スポーツ施設」の整備・充実
- 中・高校生の文化芸術発表交流の場の拡充等による文化芸術力の強化



②世界に羽ばたくグローバル人財の育成

- 英語力向上に向け、中・高校の全学年で英語力を検証・分析するとともに、教員の指導力・英語力向上の取組を推進
- 「Tokushima英語村プロジェクト」として、英語をベースとした多様性を育む体験プログラムを小・中・高校の各ステージで実施
- 海外留学や海外大学進学を目指す中・高校生のための支援の拡充



④世界に輝く「あわ文化」の創造・発信

- 開館100周年を迎える「県立図書館」の機能強化の推進
- 文化の森の「あわ文化発信拠点」としての取組拡充
- レキシルとくしまの「歴史文化発信拠点」としての取組拡充

